

日本共産党の山根とみえ議員は、8月30日から開催された9月議会の一般質問で、3つの問題について質問しました。以下質問の要旨を報告します。



大雨によるがけ崩れの安全対策を

草花、折立地区のがけ崩れの安全対策を

本年7月、突然の大雨で草花、折立地区の道路沿いの崖が崩れ、崖下のプリティッシュタウンの民家に土砂が流れるという事態が起きました。山根とみえ議員は、今後、このような事態が起こらないような万全の対策をとるよう求めました。

市は東京都知事に対し、急傾斜地危険区域の指定と崩壊防止工事について申し入れを行った、今後は設計等を含めた調査を行い、平成23年度と24年度の3年間で工事を終了する予定であると答弁しました。



プリティッシュタウン

市内で土砂災害警戒区域に指定されている箇所は170箇所

さらに、このような危険箇所が市内に何箇所あり、その対策はどのように行っているかとの問いに、市は養沢、乙津、青木平地区など合計170箇所が土砂災害警戒区域に指定されている。これらの地域を対象に情報伝達と避難訓練を行っていることと答弁しました。山根議員は、住民の命を最優先に考え、安心・安全の街づくりにとりくむよう、再度強く求めました。

草花、折立地区がけ崩れ現場



ごみの減量と収集方法の改善について

①生ごみの堆肥化をすすめるなど更なる減量に努めるよう求めるとともに、カラスや猫対策についても改善を求めました。市はコンポスト購入費の補助とEM菌方式の容器貸し出し、ダンボール方式による生ごみの減量・堆肥化を推進している。今後も減量に積極的に取り組んでいく。からす・猫対策としてはネットやふたつきのポリバケツに入れてもらうなどの個人対策をお願いしていると答弁しました。②粗大ごみの出し方について、高齢者からシールを買いに行くのが

大変との声が寄せられていることを紹介し、改善を求めました。市は、今後販売店を増やすよう努力していくことと答弁しました。③ペットボトルの回収について、2014年をめぐりにリサイクルセンターの整備が進められていることから、近隣の羽村市や福生市、青梅市などと同様に資源ごみとして個別収集で回収するよう改善を求めました。市は、新たに発生する委託料などの課題を踏まえて最良の方法で研究していくことと答弁しました。

高齢者の見守り対策について

本年夏に、100歳を越えた高齢者がずっと以前に死亡していたり、行方不明になっているという事態が各地で明らかになっています。当市では、75歳以上の方は約8100人、うち100歳以上の方は35人、一人暮らしの方は約1900人いるとのこと。山根議員は、年間7万7千食配って高齢者から大変喜ばれている東村山市の手渡し弁当サービス事業

を紹介し、当市においてもこのような他市のとりくみを参考にするなど、きめ細かい高齢者の見守り対策にとりくむよう強く求めました。市は、これからは高齢者の見守り活動に万全の対策をとっていくことと答弁しました。



日本共産党

jcp-akiruno.com/

あきる野市議団ニュース

No. 175 ● 2010・9・19 ● Tel・Fax 558-1134

日本共産党あきる野市議団は以上の見解を発表しました。

——法律相談——

10月28日(木) 午後1時30分～3時

予約が必要です。市議団までご連絡ください。